

第2期久慈市中心市街地活性化基本計画（案）に対するパブリックコメント実施結果

[実施期間：平成25年12月12日～平成25年12月24日、意見の提出者・提出件数：2名・8件]

| NO. | 意見概要 | 市の考え方 |
|-----|---|--|
| 1 | <p>10代後半から20代前半の人口流出は仕方がないことだと思う。仮に人口流出に歯止めをかけるとすれば、大学や専門学校を誘致するしかない。</p> <p>また、20代後半や30代になってUターンしたくなった人たちに雇用の機会を提供することが重要だと思う。</p> | <p>大学や専門学校の誘致は、人口減少に歯止めをかける有力な施策ですが、一般的に大学や専門学校の立地は市場の大きさや近接性が重要視されることから、今後の情勢を見ながら施策を検討します。</p> <p>また、雇用機会については、従前に行っている企業誘致や事業所への要請活動等により拡大を図っていきます。</p> |
| 2 | <p>モグランピアが復旧してまちなか水族館が新モグランピアへ移った後も駅前店舗を有効活用すべき。</p> <p>具体的には、新あまちゃんハウスや久慈琥珀博物館駅前館などはいかがか。</p> | <p>もぐらんぴあ復旧後のまちなか水族館については、関係機関と連携・調整を図りながら在り方を探っていきます。</p> |
| 3 | <p>自転車の活用を推進するのであれば、自転車専用道路を整備すべき。</p> <p>自転車は歩道を通っても車道を通っても邪魔者のような存在。ぜひ自転車専用道路をご検討願う。</p> | <p>中心市街地には通学等で多くの自転車が通行しており、歩行者、自動車との安全な分離が課題であることから、どのような対応が可能かについて今後検討します。</p> |
| 4 | <p>銀行の立地再編を行うのであれば、ぜひみちのく銀行の駐車場とその隣の空き地を買い上げて街中駐車場にしていきたい。土風館の駐車場以上の台数がとめられる。</p> | <p>中心市街地の駐車場については、各店舗ごとに散在した駐車場の使い勝手が悪かったことから、加盟店共通の駐車場として位置付ける「琥珀の街・久慈ハートフルパーキング事業」が実施されています。</p> <p>ご意見の空き地の買い上げについては、相当の費用がかかるため現時点では実施が困難と考えますが、今後も、さらなる駐車場の利便性向上に向け、関係機関と連携しながら、方策を探っていきます。</p> |

| | | |
|---|--|--|
| 5 | <p>八戸市へ行く道路が良くなり、ちょっとした買い物は八戸でという風潮が高まるのが危惧される。ちょっとした買い物は久慈市の街中で十分と思ってもらうように中心市街地活性化を進めていただきたい。</p> | <p>中心市街地の活性化を図るため、久慈商工会議所等と連携し各種イベントを開催するなど、街なかで買い物をしていただけるよう施策を進めていきます。</p> |
| 6 | <p>久慈市(山形町含む)の面積は東京23区よりもやや広い。久慈市に洋野町、野田村、普代村、田野畑村、岩泉町を加えた久慈広域圏の面積は東京都よりも広い。久慈市中心市街地が久慈広域圏の都心になるような中心市街地活性化を進めていただきたい。</p> | <p>本計画の中でも、久慈市は久慈広域圏の中心都市であり中心市街地はその中心エリアであると捉えており、ご意見のとおり中心市街地活性化を進めていきます。</p> |
| 7 | <p>中心市街地の人口減少・高齢化対応として、コンパクトシティ構想を検討し、便利で活気のある中心部に再生してほしい。</p> | <p>平成20年に策定した「久慈市都市計画マスタープラン」の中でも、都市づくりを「拡大」から「充実」へ転換させなければならないとしており、さらに今回の中心市街地活性化基本計画により便利で活気のある中心部を再生し、人口減少・高齢化に対応することとしています。</p> |
| 8 | <p>政府は居住誘導区域を設定し、本格的な自治体支援に乗り出すとしているので、今回の2期計画策定を国交省の都市再生特措法改正案成立を待って、有利な自治体支援策を組み入れたうえで、明るく安心な明日が期待できる計画としてください。</p> | <p>国の動向を常に注視し、有利な制度を活用して事業を実施することにより、明るく安心な明日が期待できる中心市街地を目指します。</p> |